

1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>「家族、大切な人と交流が図れ、地域社会の一員として生活を送れる暮らし」と理念を有し、地域社会の一員としてその人らしく満足した生活を送れるように支援していくことを事業所の理念に掲げています。</p>	<p>理念に基づき広く地域へ貢献し、今年度は第一回夏祭りを開催し町内会などの地域の方々との交流に努めており、今後も開かれた事業所を目指したいと思います。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員の分かる居間に理念を掲げ、ミーティング時や名札にも携帯し日常的にも確認しあい、理念の共有や実践に向けて取り組んでいます。又職員全員は、より細やかなケアへの目標を立て、理念の実践に向け一人ひとりにあったケアをしている。</p>	<p>理念を共有することで良い方向性になってきているが、より具体的な実践に向けた取り組みをしていきたいと思っています。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>家族の方には、来訪時など会話を通してお話している。又ホーム便りなどを通して、日々の活動・行事・生活・介護のあり方などに取り組んでいます。</p>	<p>町内会の回覧を通してホームの様子を伝えたり、高齢者共同住宅の方や地域の方々との交流する機会を設けるなど、理解して貰えるようしていきたいと思っています。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>朝夕の出勤時、退勤時、外出時など隣近所の方へのご挨拶をし、理解を深めるように努めています。又建物一階がクリニックなので近所の方々も出入りされ、職員と挨拶を交わす機会もあります。</p>	<p>高齢者共同住宅の方や近隣の幼稚園児小学校の生徒さんたちにも、気軽にホームに立ち寄って頂けるような環境をつくりたいと思います。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に加入しているので、今後は町内会行事に参加情報交換しながら、地域との交流に取り組んでいきたいと思っています。</p>	<p>区民センター、コミュニティーセンター等の活動に参加し、地域の方と交流する機会を設け、理解してもらえるよう取り組んでいきたいと思っています。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域の高齢者への貢献については、町内会の行事などを通して、貢献できるようにしていきたい。</p>	<p>夏祭りを開催し地域の方にも楽しんで頂きましたので、今後も継続できるよう取り組みしていきたいと思っています。</p>

3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価することで、各自意識を理解し外部評価内容を職員で共有し改善に努めています。</p>		<p>評価の結果を見直し、天候や環境を考慮しながら散歩、ドライブ等取り組んでいます。今後も大型商業施設や季節感を感じられるような外出行事など楽しんでいきたいと思います。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議ではホームの報告だけにとどまらず、運営推進構成員から意見・要望を受けて、発展的に今後役に立つ向上へ活かしています。</p>		<p>今後も運営推進会議において意見や助言を頂き、地域に根ざしたホームを目指し、サービスの質の向上に向けた取り組みをしていきたいと思っています。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市町村や同系列の事業所との交流を持ってサービスの質に取り組んでいます。</p>		<p>市町村事業を積極的に取り入れ連携を取り、質の向上に努めていきたいと思っています。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修等で権利擁護を学習した職員は、職場に於いて伝達講習として、他の職員対象に報告会を開き、全職員が同じ意識をもって入居者さまにあたるようにしています。</p>		<p>今後も制度について学ぶ機会を設けたいと思います。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連施設での学習会参加と職員ミーティングを行い、虐待防止について努めています。これからも細心の注意を払い防止に努めます。</p>		<p>今後も老健施設の同事業所同士での勉強会で学ぶ機会を持ち、防止に努めたいと思います。</p>
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は時間をかけ説明を行い、質問にも安心していただき同意を得ています。退居による契約解除も同様に説明と同意と選択に心掛けています。</p>		<p>契約書を交わす際は、相手の理解を確認しながら結びたいと思います。</p>

13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様の意見は、管理者や職員が随時ご本人に確認し、速やかに対策を検討し改善に努めています。</p>		<p>今後も苦情を一つひとつ真摯に受け止め、早急の改善を図っていききたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月、ご家族さまにお手紙にて報告、来訪時にも個々に合わせて対応を行っている。おこずかい預かり出納帳、領収証等は毎月郵送しており健康状態に問題があったり変化があった時などは電話で報告や相談をしています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関前に苦情箱をもうけ、いつでも意見が聞けるようになっている。又職員はご家族さまがいつでも要望などを訴えやすい関係を築けるようにしています。</p>		<p>苦情の回答については明確にし、運営推進会議やアンケートに於いてもご家族さまの意見・不満・苦情などを頂戴し今後の反映に努めていききたいと思います。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティング時や職員会議やその都度、職員の意見や提案を聞き話し合っています。</p>		<p>現場の意見を多く聞く機会を持ちたいと思います。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>状況や体調の変化に伴い、人員体制の調整を行っています。</p>		<p>今後も状況に応じた勤務体制の変更、時間の変更を行っていききたいと思います。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>日頃より全職員が入居者さまと良好な関係が築けるよう心がけ、離職者が出た場合はホーム長との連携を密に早期人員確保に努めてくれています。</p>		<p>入居者さまがダメージを受けたり心配しないように心掛けていききたいと思います。</p>

5. 人材の育成と支援

19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>老健施設主催の学習会への参加を義務付けスキルアップのための交流を図っています。又、研修参加者には、復命書の提出と伝達報告会を行い、研修報告書は全職員が閲覧できるようにしています。</p>	<p>今後も個人面談にて本人の意向を考慮し、個々の経験や目標に合わせて職員研修に参加、受講しスキルアップを図っていききたいと思います。又資格取得の為シフトを考慮してます。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>同事業者系列で和太鼓、ライヤー演奏会、勉強会等を通じて質の向上に努めてます。</p>	<p>今後、同事業者間で、職員同士の交流や学習会などを開きながら、質の向上に向けて努力していきたいと思います。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>個々のプライベートを大切に、休みの希望を出来る限り考慮できるよう公平にリフレッシュできるようにしています。</p>	<p>職員室に花や観葉植物を置き、ほっと安らげる環境づくりにしています。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>ホーム長は、職員学習会・会議に出席し、職員と話し合う機会をもっている。又、勤務状況を把握し、職員に目を配っています。</p>	<p>外部研修の勉強会の参加や、職員間での報告会、勉強会を強化し、スキルアップを図っていききたいと思います。</p>

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応

23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居される前の電話相談や、本人によるホーム見学にて雰囲気を感じてもらおう。又、本人と面談しよく傾聴しています。</p>	<p>相談時からご利用して頂けるまで、ゆっくりご本人とお話してサポートできる努力をしたいと思います。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>納得のいくまでホームを見学して頂き、その際お話を聞いている。電話でも相談・報告を行い不安を取り除けるように努力しています。</p>	<p>ご家族さまの悩みや不安に思っていることをよくお話をしていきたいと思います</p>

25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前は、ご本人やご家族さまの意向や、現在の状態などのお話を伺い、グループホームでの対応が可能か、見極めるようにしています。又、相談員からも情報提供をもらい、連携事業所への紹介なども行っています。</p>		<p>今後の入居者さまの立場に立ったサービス利用の支援を行っていききたいと思います。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人が納得できるようホーム見学にて、雰囲気を感じ取って頂き、又職員が外向き馴染みの関係を持てるようにしています。又、同列の相談員と密に連携をとっています。</p>		<p>今後も本人が安心して入居できるような場の雰囲気作りと、だんだんとけ込めるよう話し合いを行って行きたいと思っています。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>どんな時でも入居者さまが主役となれるように徹し、共に寄り添い支えあう関係づくりを築けるようにしています。又ホームの理念の実現を目指すことで、お互いに支え合う生活を行っています。</p>		<p>今後も入居者さまと職員は日々の生活を楽しみながら、お互いに支え合う関係をしていきたいと思っています。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>定期的に入居者さまの身体状態などを伝え、ご家族との関わりを大切に、一緒に支えて行くんだと言うことを伝えるようにしています。</p>		<p>ご家族さまとの会話を多くし、入居者さまの状況を共有し共に支えていく関係作りをしていきたいと思っています。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>色々な家族関係があるが、一人ひとりに応じた支援を行い、良い関係が持てるように支援しています。</p>		<p>入居者さま、ご家族さまの関係、生活歴を理解しより良い関係であるよう両方を支援していききたいと思います。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族さまや知人が気楽にいつでも来訪できる様な、雰囲気作りにも努めています。</p>		

31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者さま同士馴染みの関係ができるように、レクリエーションの提供や話題の提供をしています。又いつも共に生活している入居者さま同士の関わり合いで、孤立することがないようにしています。		入居者さまが孤立することがないように配慮し、入居者さま同士自然と支え合えるように言葉がけを行って行きたいと思います。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	個人情報保護のこともあり、慎重に配慮する必要があると感じているが、退居されてもご家族に電話を入れ今の様子を伺ったり。又、いつでもホームに遊びに来れるような雰囲気をつくっています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で随時本人の希望を確認したり、困難な場合は、ご家族さまからの情報や生活歴などを参考にさせてもらっています。		一人ひとりのニーズに合った支援を、全職員が同じ方向性で行えるようにしていきたいと思います。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談や、個別受け持ち担当者がセンター方式でアセスメントをして、職員間で情報の把握に努めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりをよく観察し、現状を把握できるように努めています。		その人らしい暮らしが継続できるように努めていきたいと思っています。

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向を大切に、介護支援専門員の指導の下で、担当職員が話し合い、充実した日々を過ごせるよう、その人に見合った介護計画を作成しています。</p>	<p>介護支援専門員の指導で、より良いケアに向け介護計画を作成しています。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>期間を設け、その都度介護計画の見直しを行い、新たな計画を作成しています。</p>	<p>状態変化に応じた支援ができるように介護計画の見直しを行い、新しい介護計画書の作成をしていきたいと思っています。</p>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践を個別記録に記入し、日々の問題点や改善策が生じた時には、カンファレンスを行い、実践や計画の見直しに活かしている。又、個別記録とは別に引き継ぎノートにて職員間で情報を共有している。</p>	<p>日々の様子を詳しく分かりやすく記録し、それを介護計画書作成に役立てています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>本人の身体状況、ご家族さまの状況に応じて、できる範囲で事業所の機能を活かした支援を行っています。</p>	<p>今後も理念、目標を生かしご家族、入居者様への柔軟な支援をしてゆきたいと思っています。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>ボランティアによる民謡・三味線・お化粧などで、おしゃれ心を深める支援を行いました。</p>	<p>ボランティア導入で生活の範囲を広げていき、個人の趣味活動の範囲をひろげていきたいと思っています。</p>

41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>理容・美容室など定期的に出張にきてもらい、希望される入居者さまにおしゃれをしていただき、気分転換をされています。又、老健施設で行ったライアー演奏・新春和太鼓などにも参加しました。</p>		<p>今後も他事業者と話し合い相談しながら入居者さまを支援していきたいと思っています。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>運営推進会議などで包括支援センター職員から意見をいただいています。</p>		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>併設のクリニックが協力医療機関でもあり、かかりつけ医でもあるため、日常の健康管理や特定健診等を受けてます。クリニック休診日や夜間は日常の健康面を管理しているホーム専任の看護師がオンコール対応しています。又、訪問歯科診療により治療や指導を受けています。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>認知症専門医研修を終えたクリニック医師による診察やコンサルテーションを受け、状態悪化により、高度な専門機関を受診するタイミングを逸しないようにしています。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>土・日・祭・夜間はホーム専任の看護師が、週2日勤務の他に24時間オンコールとし、連絡可能な体制を整えています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入居者さまが入院した時は、入院先の病院関係者と情報交換するように努めています。又、ご家族さまとも連絡を密にし、入居者さまが安心して入院できるようにしています。</p>		

47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居者さまが重度化してきた時は、できるだけ早い時期からご家族さまと話し合いをもち、かかりつけ医師や看護師を中心に個々に望む終末期ケアについて職員間で方向性を共有しています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>入居者さまが、重度化してきた時などは、グループホームでできること、できないことを見極め、クリニック医師からもご家族さまに説明をして頂いております。近隣の同法人の協力病院や老健とも入院や入所などの受け入れ相談ができる体制が整備されています。</p>		
49	<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>身体的理由でホームでの生活が困難になった場合は、ご家族様に事前説明を十分に行い、入居者さまのダメージや不安を、できる限り最小限に防ぐ事に努めています。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者さまの戦後のご苦労があって、現在の生活があるんだという敬意、尊敬の心をもち、言葉掛けや対応をしていきたいと思ひます。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者様の目線でゆっくり・優しく・ゆったりとした気持ちで働きかけ、本人の意思を尊重した支援を行っています。</p>		<p>今後も入居者さまを中心としたケアにしていきたいと思ひます。</p>

52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者さまの意思を優先し、その人らしいペース・生活感を大事にして尊重しています。</p>	<p>今後も散歩や買い物・外食など外出レクへの機会を増やしていきたいと思います。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>月1回訪問美容師・理容師が来てくれている。希望によっては、他の美容室に行くこともあります。好みの化粧品や身の回り品を把握し、必要に応じて補充しています。</p>	<p>一人ひとりの個性を大切にしておしゃれをしていただけるようにしています。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一人ひとりに合ったお手伝いの出番を見つけ、職員とお話しながら、楽しい時間を持つように努めています。</p>	<p>テラスを利用した野菜作りやホーム横の畑でとれた季節毎の食材を、食事に取り入れていきたいと思ます。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつ・飲み物は入居者様と一緒に買い物に出かけたり、状況に合わせて楽しんでます。又、希望される入居者さまへの飲食物などは代行で購入し楽しんでいただいています。</p>	<p>ご本人の嗜好によるノンアルコールビールや甘酒・ピザ等提供し、楽しんで頂きたいと思ます。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄板も使用し、一人ひとりの排泄パターンを把握、気持ちよくできる限りトイレで排泄していただくようにしています。パットを使用している方も必ずトイレ誘導を行っています。</p>	<p>一人ひとりの排泄間隔をつかみ失敗が少ないように適切なケアのもとで、安心した生活が送れるようにしていきたいと思ます。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>入居者様の希望を聞き、気持ちよく・落ち着いて・安全に入浴していただくようにしています。</p>	<p>今後もその時々に応じた(失敗・汗など)入浴が行われるようにしていきたいと思ます。</p>

58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>昼食後の軽い休息や、ソファー・小上がりでの休息など、一人ひとり状況に合った支援を行っています。</p>	<p>みんなが居る居間ソファーでの休息が安心という入居者さまには安楽な姿勢で休んでいただいています</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの趣味・嗜好・生活歴に合わせたお手伝いや体操、レクへの参加、などで楽しみを見つけるように支援しています。</p>	<p>毎日午前のレクリエーションの参加や、午後からはその日の状況に合わせてその人らしい出番を見つけ、能力を引き出していきたいと思います。又、行事などで日常変化をもっていただき、いつもと違う気晴らしができるようにしたいと思います。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者さまご家族さまと相談して、お金の所持をしています。</p>	<p>買い物レクなどでご本人による金銭の精算ができるような支援をしていきたいと思います。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>希望時の買い物は、できる限り希望をとれるようにしています。ご家族さまとの外出も積極的に支援し、歓迎しています。</p>	<p>ご家族さまも一緒に出かけられる機会をつくりたいと思います。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>法人役員の庭にさくらんぼの木があり「さくらんぼ狩り」を楽しんできました。</p>	<p>今後もご家族さま、大切な人との交流が図れるように支援していきたいと思います。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話や手紙でのご家族さまや大切な人とのつながりを大切に支援しています。</p>	

64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>気軽に訪問ができるような、環境や雰囲気づくりを行い、ご家族さまもゆっくりくつろげるように配慮しています。</p>		<p>今後も、気軽に来ていただけるような雰囲気づくりをしていきたいと思っています。</p>
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・言葉による拘束・その他の拘束がないか、職員会議や申し送り、ミーティングなどで話し合いを行い、拘束のないケアの取り組みをしています。やむを得ず御家族様の承諾の元、音センサーを期限付きで活用しています。</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内・居室などすべて鍵はかけていないケアを実践しているが、1階玄関は他施設と共同部分なので夜間のみ鍵をかけています。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>職員の分かる場所に理念を掲げ、ミーティング時や日常的にも確認し合い、実践に向けて取り組んでいます。入居者さまのプライバシーを配慮しながら、昼夜通して入居者さまの所在や様子を把握し安全に努めています。</p>		<p>今後も入居者さまのプライバシーを配慮しながら、アンテナを張って、毎日細心の注意を払っていききたいと思います。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>入居者さまの状態や行動に応じて、物品の配置を変えたり、洗剤・薬品などの安全保管管理に努めています。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>各ユニットに救急マニュアルを設置し、対応もできるよう訓練も行いました。又、事故が発生した場合は、すぐに会議を開き話し合いをし、今後同じ事がおきかないよう再発防止に取り組んでいます。</p>		

70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	毎月の職員会議で事故発生時の知識と対応を学んでいます。各ユニットに救急マニュアルを設置し、職員訓練も行いました。		今後も看護師の指導のもとで全職員が救急法を実践できるようにしたいと思います。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回定期的に火災訓練を行っています。日中、夜間に火災が発生したことを想定した訓練を行い、消火器使用しての初期消火や通報訓練・避難誘導・搬出が確立されています。		
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	状況に応じ、一人ひとりに起こり得るリスクについて、十分にご家族にお話し、少しでも抑圧感のない暮らしができるようにしています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	月一回の受診時にかかりつけ医の指示をいただいています。又、看護師が健康面の管理を行っています。職員は毎日バイタル測定を行い、体調の変化があった場合などは、看護師に相談しています。		健康面の看護アセスメントを看護師が行い、介護員も状態の変化・発見に努め、気づいた際には主治医や看護師へ情報提供を行い、早期発見、対応に努めています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の管理は、看護師がしています。月一回の受診時などで服薬の変更があった場合などは、職員全員に情報がいくようにファイル・ノートに記録しています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食事で繊維の多いものを取り入れたり、水分をなるべく多く取っていただく工夫をしています。又、ラジオ体操や廊下歩行の運動も取り入れ、下剤だけにたよらないようにしています。		水分摂取量の不足な入居さまには、個別に水分の重要な説明をしています。ゼリー、果物、飲み物など工夫した対応を行っています。

76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い、一人ひとりに合わせた見守りや介助を行い、口腔内の清潔保持に努めています。又、歯科受診が必要な方は訪問歯科受診をしています。</p>		<p>訪問歯科受診にて、口腔内リハビリなどを実施してもらっています。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事量・水分量を一人ひとりチェックし記録に残しています。日々の状態に合わせた栄養・水分量のバランスが確保できるように支援しています。</p>		<p>一人ひとりの水分摂取、食事摂取量を記載し把握しています。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染防止マニュアルは職員がいつでも活用できるようにファイルしています。職員が理解と対処できるための対策として特に正しい手洗いの仕方やグローブの着脱は基本をマスターできるように実技指導を老健の感染対策学習会で学んでいます。消毒薬や必要物品等もすぐに対応できるように一式にして常備しています。</p>		<p>出勤時は職員全員、うがいと手洗いを実施していますので今後も継続していきたいと思います。</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日の食器洗い後は、熱湯消毒をしています。冷蔵庫・調理器具も洗浄・消毒をおこない、食品は、賞味期限の確認をおこない管理に努めています。</p>		<p>衛生管理や新鮮な食材の利用など食中毒の予防に努めていきたいと思っています。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>明るく広い、開放的な玄関に改築されました。防犯のためモニターも設置しています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>置物、飾り物、家具などで季節感や生活感を工夫し壁にはディスプレイをして心地よい空間づくりをしています。入居者さまの誕生日には、お祝いのポスターを飾り楽しんでいきます。</p>		<p>歩行器、車椅子使用でも共用空間が妨げにならないよう配慮していきたいと思っています。</p>

82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>小上がり、ソファー、椅子などそれぞれのお気に入りの物を置き、お気に入りの居場所をつくり自由に思い思い過ごせるように工夫しています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室の家具はご本人とご家族さまにご用意いただき、居心地よく暮らせるようにしています。</p>		<p>ご家族さまと相談された一人ひとりの希望に沿った居室になっています。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>毎日換気を行い、各お部屋に設置して温度・湿度計を目安に温度調整を行っています。又、共同場所の消臭にも気を付けています。</p>		<p>冬場は暖房使用により乾燥がされている為、細々な洗濯物は自室に干し乾燥調整を行っています。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>安全に歩行が出来るように、手すりが設置しています。又、一休みも出来るように椅子も置き、安全を確保しています。</p>		<p>今後も長い廊下を活用し、廊下歩行訓練を行い身体機能の維持を図っていきたいと思います。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>ご本人、ご家族さまの了解を頂き、各お部屋入り口には、表札や写真を目線に合わせ飾り、自立して暮らせるようにしています。</p>		<p>ご自分の運動量を確認しながら、広い廊下で歩行運動されている入居者さまがおり、職員と共に達成感を感じています。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダでは両ユニットで日光浴を兼ねて茶話会等を行い楽しんでます。</p>		<p>今後、プランターでミニトマト栽培等を行ったり外回は花を植えたり入居者さまと職員で一緒に行ないたいと思います。</p>

サービスの実績に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>ご家族様の来訪時はお話を傾聴し、困っていること・要望などある場合は、ご遠慮なさらずに何でも話していただけるように言葉かけをしています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>一日二回にお茶の時間や食事と一緒に食べ会話の場をつくっています。又、くつろぎの時間やレクリエーションの時間など、入居者さまとソファに座り、会話をしながらゆったりと過ごす時間が多いと思います。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>自由に自分らしく生活されています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>一人ひとりに合ったお手伝いとレクリエーションなどの出番をつくることで、役割・達成感を感じられています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>希望によって職員が対応しています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>主治医と看護師との連携体制・24時間オンコール体制がとれているので、安心して生活されています。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>日々の状況・要望に応じた支援に心がけ安心して暮らせるようにしています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご家族さまの困っていることや求めていることは、遠慮されず話していただけるように、良い関係づくりに心がけています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>ご家族さまや友人・知人のご来訪があり、気軽に遊びにきていただけるように言葉かけをしています。</p>

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	運営推進会議では、町内会の行事への誘いなどいただき、少しずつつながりが広まってきたと思います。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	入居者さまの毎日のお手伝いの出番やレクリエーション達成感の表情など感じるにより、職員も共感し仕事へのやりがいを感じて生き生きと働いていると思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	歩行器など使用の方がいらっしゃり、居間空間が少し狭く感じられます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族さまからは、心温まるお言葉は頂きますが、本音は希望されることがたくさんあると思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

理念・目標に沿った支援を全職員が同じ方向性で実現に向け、毎日の生活の中で入居者さま一人ひとりに合った役割・出番を多く持ってもらい、入居者さまが生活の主役となるよう、生き生きと暮らしていただけます。又、入居者さまが孤独感・孤立感を抱えないよう職員は、入居者さまの毎日の生活を楽しく・優しく・安心した生活を送られるように努めています。又、御家族は気楽に御来訪され第2の家庭の様にくつろげる雰囲気作り、職員のキチンとした挨拶、笑顔で好感度を持てるよう努めてます。